

「国際教育協力研究」執筆要領

投稿する原稿は、次の各号にしたがって作成するものとする。

- (1) 原稿はA4判横書きとする。
- (2) 原稿には、題名・著者名（和文及び欧文）、200字以内の要約（和文又は欧文）、3から5個のキーワード（和文又は欧文）を記載する。
- (3) 前項に規定する刷り上がり頁数には、題名・著者名、要約、キーワード、図・表・写真注釈、参考文献リスト等をすべて含む。なお、刷り上がり1頁の分量は、字数換算で1600字（本文横20字×縦40行×2段組、10.5ポイント）とし、12枚以内（表題、筆者名・所属、図表、参考文献を含む）、偶数頁を原則とする。
- (4) 読点はカンマ（,）句点はピリオド（.）とし、1文字分を占める。
- (5) 図・表・写真は、出典を明記し、必要最小限の枚数及び大きさとし、1点ごとに本文とは別の用紙に作成し、縮尺率と本文中の挿入位置を明記して原稿に添付する。図表については、写真製版するので、完全な原図を作成する。
- (6) 注及び引用文献は、本文中の該当箇所の右肩に、¹⁾の番号を付し、本文末尾に通し番号順に一括記載する。
- (7) 参考文献は、本文最末尾に参考文献と表示して一括記載する。
- (8) 引用及び参考文献の表示は原則として次のとおりとする。
 - ア) 論文の場合：著者名、発行年、論文名、雑誌名、巻号、頁とする。
（例）服部勝憲（1997）、小学校教師の算数科カリキュラムに関する認識について、日本数学教育学会誌、4巻2号、pp.358-366.
 - イ) 著書の場合：著者名、発行年、題目、書名、編者名、出版社、頁とする。
（例）齋藤昇（2004）、山登り式学習法の実践方法、齋藤昇編、「山登り式学習法」入門、明治図書、pp.18-47.
- (9) 執筆投稿者校正は、初校を原則とする。校正は朱筆で行い、誤植、誤字及び欠字の修正にとどめ、原文の加筆及び変更は認めない。
- (10) 校正は、校正刷りが執筆者の手元に回送された後、編集委員会が定めた期日以内に完了し、返却する。